

2026年05月08日

東ソー株式会社
広報・IR室

バイオマス発電所を稼働開始 ～東ソーグループのGHG排出量削減に大きく貢献～

東ソーは、このたび南陽事業所(山口県周南市)において、バイオマス発電所の稼働を開始しました。本発電所の稼働に伴い、老朽化した自家用石炭火力発電所の一つを廃止することで東ソーグループのGHG排出量削減に大きく貢献する見込みです。

当社南陽事業所にある既存の自家用火力発電所では主に石炭を使用していましたが、新設した発電所では木質系燃料(ホワイトペレット)に加え、建築廃材(木質チップ)やRPF※などの廃棄物系燃料といった多種多様な燃料の使用を可能としています。これにより、廃棄物の有効利用に取り組むだけでなく、燃料転換コスト抑制と燃料の調達安定性向上を図ります。

国内では例がほとんどない4種類の燃料使用に挑戦し、将来的にはバイオマス専焼により年間約50万tのCO2排出量削減を目指します。

東ソーグループは引き続き、使用エネルギーおよび原料の低炭素化に向けた取り組みを推進してまいります。

※ Refuse derived Paper and Plastics densified Fuel の略称。古紙および廃プラスチックを原料とする固形燃料。



バイオマス発電所

稼働した発電所の概要

立地	当社 南陽事業所
設備概要	バイオマス発電所(ボイラー1基、蒸気タービンほか)
工事完工	2025年9月
本運転開始	2026年4月
発電出力	74MW
CO2削減量	バイオマス専焼時 約50万t/年

関連情報

▶ **【リリース】南陽事業所にバイオマス発電所を新設～エネルギーの脱炭素化に向けた施策～**

お問い合わせ先

東ソー株式会社 広報・IR室
東京都中央区八重洲2-2-1
TEL:03-6636-3712

お問い合わせフォーム